



家計の

節約
レシビ

SE-TSU
YA-KU

ご購入は左ページ下の送り先へ

結婚13年目。今月は最近財形貯蓄の額を上げたため赤字になっていますが、決して贅沢をしているわけではありません。子供の教育面も考え、そろそろマイホームの購入をと考えています。以前は共働きだったので貯蓄はあります。子供の今後の教育面を考えた場合、今後どのように家計を考えたらいいでしょうか。

アドバイザーは、税理士・CFP® 志學館大学非常勤講師 林 高宏さん(鹿児島市)

Uさんの家計簿(霧島市在住) [夫42歳(団体職員)、妻38歳(専業主婦)、長男12歳、長女9歳]

収入	
夫	400,000円
児童手当	10,000円
計	410,000円
支出	
家賃(駐車場込)	68,000円
食費	45,000円
水道光熱費	18,000円
通信費(携帯電話代含む)	19,000円
衣服費	5,000円
教育費	55,000円
新聞・定期購読紙代	5,000円
日用品	25,000円
交際費	5,000円

<支出続き>	
外食・レジャー費	20,000円
医療費	10,000円
夫小遣い(昼食費込)	35,000円
生命保険	19,000円
ガソリン代	10,000円
財形貯蓄	100,000円

<ボーナス収支、支出続き>	
車関係	200,000円
レジャー費	100,000円
冠婚葬祭費	50,000円
帰省費	100,000円
赤字補てん等	150,000円

合計 439,000円
赤字 29,000円

ボーナス収支(年間)	
●収入	
夫ボーナス	1,200,000円
●支出	
財形貯蓄	600,000円

貯蓄残高	
夫名義普通預金	800,000円
妻名義普通預金	200,000円
夫名義定期預金	1,000,000円
妻名義定期預金	3,000,000円
夫名義財形貯蓄	13,400,000円
株	2,000,000円
長男学資保険	4,200,000円
長男定期預金	200,000円
長女定期預金	200,000円

奥さんがやりくり上手で、2500万円もの蓄財をなしているのは驚きです。しかし、ゴールが間近に見えてきたせいででしょうか、最近ばかりよつと焦りが見えるようです。今後の明るい収支を予測して、心に余裕を取り戻しましょう。購入予定のマイホームは3000万円程度とのことですが、関連費用を200万円、新たな家具購入なども考え、総額を3500万円と考えることにします。

1500万円を自己資金で、残り2000万円は20年のローンを組みたいとのことですが、住宅金融公庫によると、平均的な日本人は3000万円の家を購入し、2500万円のローンを組むそうです。この数字をクリアしているので、賢明なマイホーム計画と言えます。

問題はその後。大学は最低でも年間120万円以上かかります。家計費を再度見直し、教育資金を確保してください。なお、家計に余裕が出始めたなら、老後資金の確保を睨みつつ、ローンの繰り上げ返済をお勧めします。

U家の場合、今後3年間は毎月12万円、その後の3年間は毎月17万円の支出増加が予想されます。今後は住宅財形がなく(現在は住宅財形が15万円)、税金面の優遇措置もありませんので、今後6年間はなんとか対処できそうです。

A. 大学考え無駄の見直しを

μ計画と言えそうです。さて、今後の収支予想を立ててみましょう。教育費は、小学生で年間30万円、中学生で40万円、高校生で50万円かかると言われています(いずれも公立の場合)。